

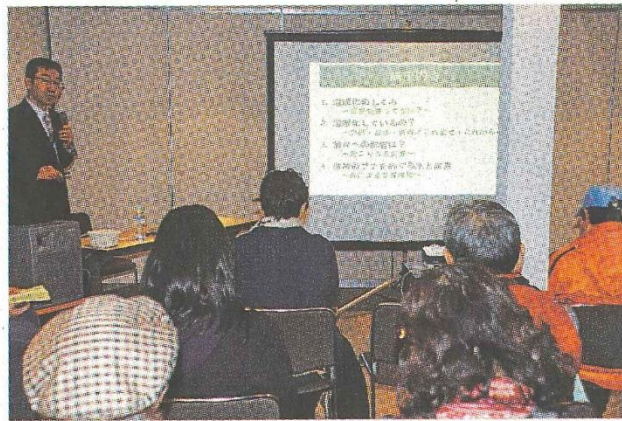
地球温暖化身近に

弘前 NPO が環境講座

NPO法人もつたい
ない弘前(日景弥生代
表)は17日、弘前市の
百石町展示館で環境講
座「『地球は温暖化し
ているの?』—津軽・
白神の未来は?」を開
いた。参加者は講演を
通して地球温暖化や環
境問題、それらの対策
の必要性について理解
を深めた。
同法人は、目に見え
る循環型社会の実現を
目指すとして2010年

1月7日に設立。市民
らから古紙を集めて再
生紙を作るなどの活動
を続けてきた。今回
は、市民らに地球温暖
化について少しでも考
えてもらおうと初めて
講座を開いた。

この日は、地域住民
ら約30人が参加。石田
祐宣弘前大学大学院理
工学研究科助教が講師
を務め、温暖化の仕組
みや現状、人々に与え
る影響などを分かりや



参加者が地球温暖化について理解を深めた講座

すく紹介した。

石田助教は「二酸化

炭素、気温ともに20世
紀以降、急上昇してい

る。日本は温暖化が世
界平均より速い傾向に
ある」と指摘。「本県
では100年後、夏日
が約40日、真夏日は20

日ほど増えることも考
えられる」と語り「今
から対策をするかしま
いかで将来が大きく変
わってくる」と警鐘を
鳴らした。

(神稔典)

※この画像は当該ページに限って陸奥新報社が利用を許諾したものです。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科

E-mail:r_koho@hirosaki-u.ac.jp